

高解像度地理情報が切り拓く 科学研究と未来社会



参加無料

☑ オンラインOK!

☑ CPD対象

・建設コンサルタンツ

・土木学会



詳細はこちら

© 株式会社ワールドスキャンプロジェクト

地理空間情報技術は近年目まぐるしい発展を遂げており、その将来性が有望視されています。このシンポジウムでは、フォトグラメトリやLiDAR技術を科学研究に活用した事例や、NFTやメタバースなどへの社会実装事例をご紹介します。また、デジタルネイティブ世代であるZ世代と一緒に、地理空間情報が切り拓く未来についてパネルディスカッションを行います。

第1部

1. デジタル考古学におけるNFTの活用

市川 泰雅 (株式会社ワールドスキャンプロジェクト・CTO)

2. 海底洞窟の三次元モデル構築と生物多様性研究への応用

藤田 喜久 (沖縄県立芸術大学 全学教育センター・教授)

3. デジタル地形データによる変動地形研究の革新と進展

後藤 秀昭 (広島大学大学院 人間社会科学研究科・教授)

4. サンゴ礁のデジタル空間づくり

菅 浩伸 (九州大学 浅海底フロンティア研究センター・センター長)

5. 環境保全とNFT：市民参加型GISプラットフォームの構築

三納 正美 (九州大学 寄附講座ワールドスキャン地理情報解析講座・准教授)

6. 地理空間情報技術の社会実装

森田 圭吾 (日本ミクニヤ株式会社 空間情報計測カンパニー)

佐々木 信和 (パシフィックコンサルタンツ株式会社 北海道支社 国土基盤事業部・部長)

宮田 拓馬 (株式会社 東陽テクニカ 海洋計測部)

第2部

デジタルネイティブ世代との
パネルディスカッション

パネリスト：第1部登壇者

お申込みはこちら



2025年1月11日 土 13:00 ~ 17:30 (開場 12:30)

リファレンス駅東ビル 5F 会議室 V-1

*JR博多駅より徒歩8分

(福岡市博多区博多駅東1丁目16-14)

主催：九州大学 寄附講座ワールドスキャン地理情報解析講座

共催：九州大学 浅海底フロンティア研究センター

後援：福岡市教育委員会、糸島市

特別協賛：株式会社ワールドスキャンプロジェクト

協賛：日本ミクニヤ株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社東陽テクニカ

RESEARCH CENTER FOR
Coastal Seafloor
KYUSHU UNIVERSITY



W.S.P
WORLD SCAN PROJECT

W.S.P



お問い合わせ先：九州大学大学院 比較社会文化研究院附属 浅海底フロンティア研究センター seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp

*会場内で撮影した写真や動画を広報活動等に使用する事があります。予めご了承ください。*本シンポジウムの一部は JSPS 科研費補助金 JP21H04379 の助成を受けたものです。